

日本海東北自動車道

あつみ温泉 I C ~ 鶴岡 J C T
開通 1 ヶ月後の交通状況について

日本海東北自動車道の鶴岡市大岩川から鶴岡市友江までの区間において、交流連携の促進や地域の活性化はもとより、災害時における信頼性や安全の確保、さらには観光地へのアクセス性向上や緊急医療圏域の拡大などを目的に整備を進め、平成24年3月24日午後5時に開通しました。

この度、開通 1 ヶ月後の平成24年4月23日に交通状況の調査を行い、あわせて地域利用者の声を取りまとめましたのでお知らせします。

■日本海東北自動車道の交通量（無料区間）

区 間	交通量	摘要欄
	開通1ヶ月後(H24. 4. 23)	
三瀬 I C ~ 鶴岡西 I C	5, 900台/日	無料区間

■日本海東北自動車道への交通転換により、国道7号及び国道345号の交通量が減少しました。

地点名	交通量		摘要欄
	開通前 (H24. 3. 21)	開通1ヶ月後(H24. 4. 23)	
国道7号(小波渡)	8, 800台/日	5, 100台/日	約4割減少
国道345号	3, 200台/日	3, 000台/日	約1割減少

■地域利用者の声

- ・原材料の搬入時間短縮や搬入時刻の精度向上につながりました。(物流事業者)
- ・庄内(特に酒田)のお客様が多く来られ、昼食や立寄り入浴の利用が目立っていると感じます。(あつみ温泉観光協会)
- ・災害等によって、集落が孤立する心配がなくなりました。(町内会)

(※4月4日爆弾低気圧による暴風時に温海・五十川地区の代替路として機能を発揮)

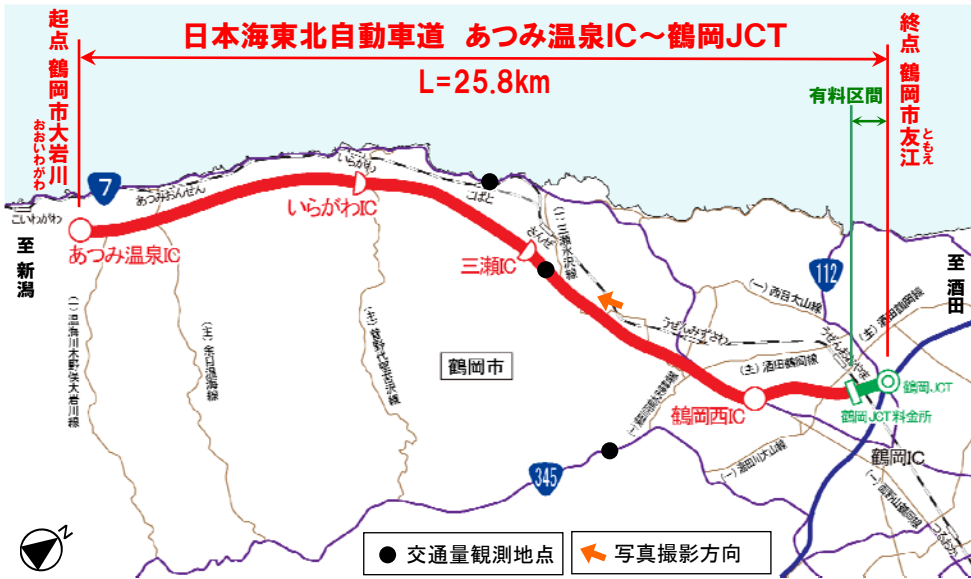
【 発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会 】

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所	TEL: 0234-27-3331
道路副所長	伊藤 啓一
調査第二課長	鈴木 久

【開通1ヶ月後】日本海東北自動車道 あつみ温泉IC～鶴岡JCTが 開通して

(平成24年 3月24日開通)

- ① 並行する国道7号や国道345号の
交通量が減少
- ② 沿線地域や道路利用者も効果を実感



日本海東北自動車道の交通状況



新潟方面を望む

～沿線地域や道路利用者も効果を実感～

■物流の効率化

- ・原材料の搬入時間短縮や搬入時刻の精度向上につながりました。
- ・国道7号の交通量が減少して、安全に輸送できるようになりました。
(沿線地域の物流事業者ヒアリング結果より)

■観光の活性化

- ・庄内(特に酒田)のお客様が多く来られ、昼食や立寄り入浴の利用が目立っていると感じます。(あつみ観光協会ヒアリング結果より)

■生活利便性・安心感の向上

- ・酒田、鶴岡方面に通勤する人たちにとって、本当に便利な道路です。
- ・庄内方面への救急搬送時間が確実に短縮される上、由良坂を通る必要がなくなり、安心感が増しました。(町内会ヒアリング結果より)

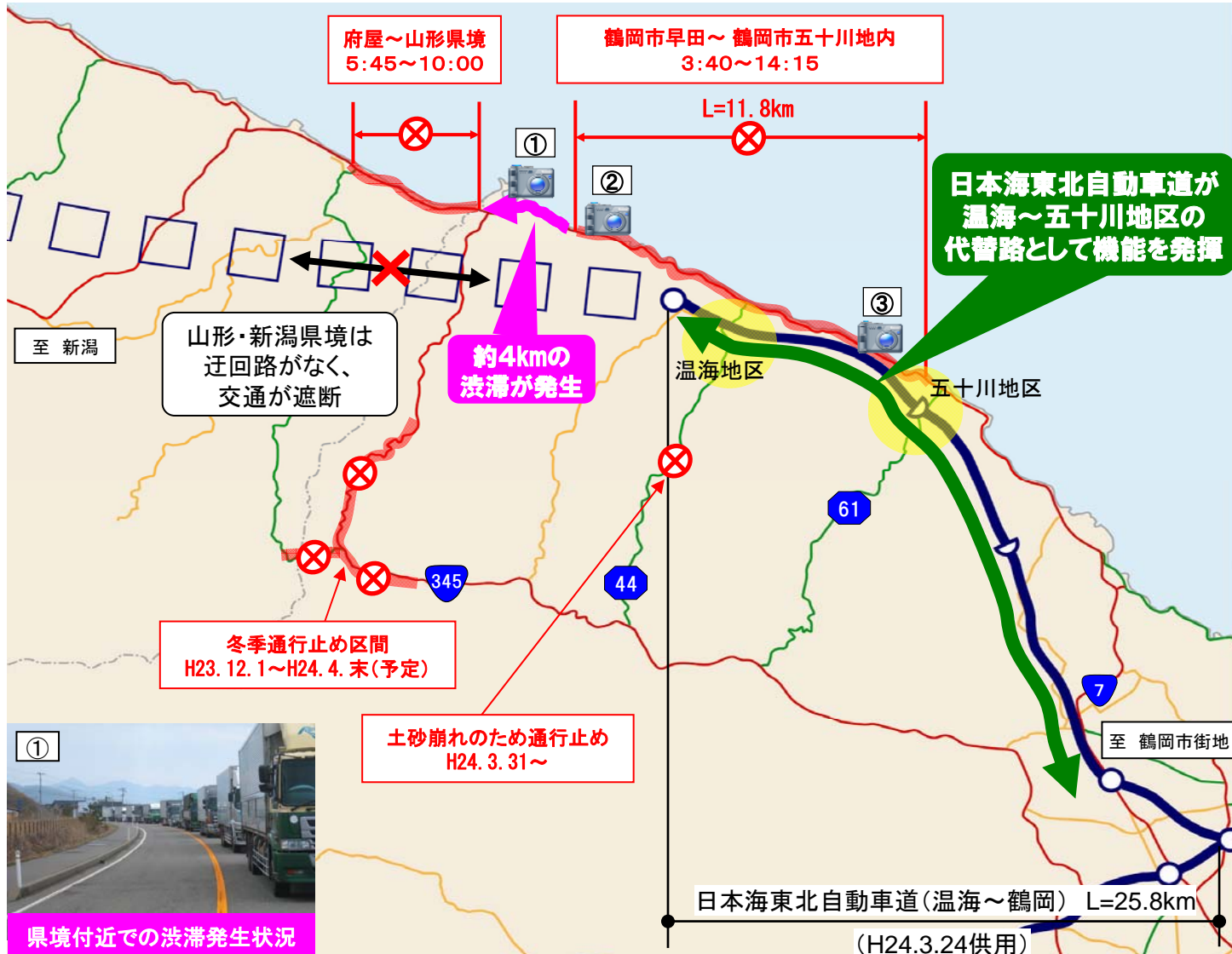
■並行する国道7号や国道345号の交通量が減少

開通前	開通1ヶ月後
国道7号 : 8,800台/日	国道7号 : 5,100台/日
国道345号 : 3,200台/日	国道345号 : 3,000台/日
高 速 : 1台/日	高 速 : 5,900台/日

事業期間	: 平成9年度～平成23年度
延 長	: 25.8km
幅 員	: 12.0m (暫定2車)

国道7号の迂回路が無い、山形～新潟の沿岸交通が遮断

- ・国道7号の一部区間が、越波により約10時間半にわたり全面通行止め〔平成24年4月4日(水)〕
- ・温海地区以北では、日本海東北自動車道が代替路として機能を発揮
- ・山形～新潟県境部は、迂回路がなく交通が遮断



■商品の確実な輸送を支援

- ・4月4日は、通常より搬入が遅れましたが、日本海東北自動車道経由で無事に商品が届きました。
- (沿線地域の物流事業者ヒアリング結果より)

■災害時の安心感向上

- ・災害等によって集落が孤立する心配がなくなりました。
- (町内会代表者ヒアリング結果より)

県境付近での渋滞発生状況